

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-820	C-139	21-012	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
A Matched Control Analysis on the Effects of Alcohol Use Disorder After Primary Total Knee Arthroplasty in Medicare Patients メディケア患者における初回人工膝関節全置換術後のアルコール使用障害の影響に関するマッチドコントロール分析			
執筆者			
Luo TD, Vakharia RM, Gwam CU, Zuskov A, Plate JF, Roche MW.			
掲載誌			
J Am Acad Orthop Surg. 2021 Jun 15;29(12):e593-e600. doi: 10.5435/JAAOS-D-20-00466.			
キーワード			PMID
アルコール使用障害、人工膝関節全置換術、静脈血栓塞栓症			32991387
要 旨			
<p>目的: 初回人工膝関節全置換術 (TKA) 後のアルコール使用障害 (AUD) が、(1) 術後合併症、(2) 入院期間、(3) 医療費に及ぼす影響を調査した。</p> <p>方法: 2005 年から 2014 年に初回 TKA を受けた AUD を有するメディケア患者について、市販データベースである PearDriver からアクセスした Medicare Standard Analytical Files を用いたレトロスペクティブなケースコントロールスタディである。AUD 患者は年齢、性別、静脈血栓塞栓症 (VTE) 発症に関連する医学的合併症 (冠動脈疾患、慢性閉塞性肺疾患、肝硬変、糖尿病、高脂血症、高血圧、肥満 (BMI>30kg/m²)) によって 1:5 の割合で対照群 (AUD 無) とマッチングさせた。マッチングの結果、354,690 例の TKA 患者が抽出された (AUD 有 59,126 例、AUD 無 295,564 例)。年齢、性別、医学的合併症などのカテゴリー変数は、Pearson χ^2 検定を用いて評価した。多変量ロジスティック回帰分析により、年齢、性別、地域、Elixhauser Comorbidity Index を調整した上で、AUD と従属変数との関連についてオッズ比 (OR) 及び 95%信頼区間を算出した。入院期間や医療費などの連続変数はウェルチ検定を用いて評価した。</p> <p>結果: AUD 患者は、初回 TKA 後 90 日以内 (OR: 1.41、P<0.0001) 並びに一年時点 (OR: 1.51、P<0.0001) の VTE を含む医学的合併症、及び初回 TKA 後 2 年以内のインプラント関連の合併症が有意に高かった。AUD 患者は入院期間が有意に長く (4 日対 3 日、P<0.0001)、90 日包括払い費用が有意に高かった (15,569.76 ドル対 13,763.06 ドル、P<0.0001)。</p> <p>結論: 初回 TKA 後の患者における AUD と VTE 発症との間に有意な関連性があることが示された。</p>			